



医療と国際化と地元愛
港区と区議会をもっと身近に

2023.10 港区政レポート vol.34

THE OGURA TIMES

港区議会議員 小倉りえこ

プロフィール

●麻布十番出身 ●港区立東町小学校卒 ●米サウスカロライナ大理学部卒
●バイオベンチャー・製薬企業の新薬臨床開発職を経て2015年初当選
●「医療と国際化と地元愛」特化型で現在2期目 ●港区議会 自民党議員団
〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601 <https://ogura-rieko.com>



ホームページにて議会報告・個人レポート、徒然エッセイなど随時更新中

HP

YouTube

区議会議員9年目となりました。出来ることをひとつずつ、初心を忘れず、地域のために真摯に取り組んでいます。
みなさんのお声が小倉りえこの政策です。教育、産業支援、医療、福祉など幅広い分野で提案が採用されています。

港区議会 第3回定例会 補正予算は付帯決議で可決

審議事項

【専決処分】 2件 工事請負契約の変更、和解など
【条例】 8件 法律改正に伴う港区条例一部改正

【決算】 4件 令和4年度歳入歳出決算
【その他】 29件 工事請負契約の承認、物品の購入
指定管理者の指定など

【予算】 2件 令和5年度補正予算
付帯決議



シンガポール修学旅行は特別委員会を設置

自民党幹事長が議会を代表して特別委員会設置を提案



付帯決議：国際人育成事業にかかる補正予算及び、区立中学校海外修学旅行にかかる債務負担行為については、所管の委員会で質疑・了承の上、執行されたい。

9/11～10/6まで港区議会第3回定例会が開催。世間を騒がせた「区立中学生海外修学旅行」のための補正予算案も含まれ、「賛成」「反対」の意見が毎日のように寄せられました。

事業費が約5億1,200万円。根拠となる内訳も不明確な点多々ありました。限られた時間内で資料再提出を繰り返しましたが、それでもまだ不十分でした。本来、このような事業執行は議会は認めるべきものではないと考えますが、苦渋の決断を迫られました。

しかし、行政が議決前に発表し、期待を膨らませてしまった以上、議会の責任は「やめさせること」ではなく、「どうしたら子どもたちが後ろめたさを感じる事なく実施できるか」にシフトせざるを得ませんでした。

議員同士でも意見は割れ、どう議会として取りまとめるか苦労しましたが、議長と自民党議員団発案で調査特別委員会を設置。継続して議論することになりました。

ご理解をお願いいたします。

海外修学旅行案件は、定例会最終日前日まで異例の延長審議



区議会における議論の争点は2点

- ① 事業立案に至るまでのプロセスが不明
- ② 事業費概算が不明瞭

議会の役目として、事業執行が適正かを確認する必要があります。議会で議論する時間も与えられなかったことから、議会軽視との声もありました。



区立中学三年生760人 +教職員など計860人

就学援助を受けている家庭は区立中学10校における生徒総数の約2割

パスポート取得費用、家庭負担、既に準備していた国内修学旅行のキャンセル費用など、これから明確にしなければならない点が多々あります。

今回の定例会で、議会と行政で本来の緊張感を持った関係性を改めて保つ良いきっかけになったと思います。議会は行政の追認機関ではありません。

特別委員会を立ち上げ、これから事業者の選定がどうやって適正に行われるか、複数事業者からの公募があるようにどう努力していくか、区民の理解を今以上に得るために、議会も責任をもって臨みます。



質疑で明らかになった事業立案～庁内決定経緯

2022年 6月： 教育委員会事務局で検討開始
2023年 6月： 中学校長数名にヒアリング
7月： 教育委員への情報提供
中学校校長会から意見徴収
8月： 教育委員会で意思決定
教育委員へ実施の報告
9月： 区長記者発表



事業全体像、個別詳細はまだ完全には見えず

事業代 A社概算： 約5億1,580万円
事業代 B社概算： 約4億6,720万円

あくまでも概算であり、修学旅行内容は今後のプロポーザルでの事業者提案によります。内容と費用のバランスが今後重要になってきます。

補正予算の約5億1,200万円を生徒数760で割ったひとりあたり50万円、60万円という報道が先行したため、一般の海外格安ツアー料金と比較する方も多くいました。

しかし修学旅行は観光ではありません。ガイド、添乗員、研修プログラムにかかる事前学習、企画内容による経費の他、特別支援介助員同行等の人件費、保険料など、通常の旅行以上に費用がかかります。

第1回 海外修学旅行調査特別委員会が開催

10/17に特別委員会が開催され、これまで自民党議員団から様々な機会に指摘してきたことに改善がみられました。

事業候補者選考委員 通常5名 → 7名へ
(学識経験者枠を2名追加)

各自対応だった医療・疾病保険加入を区が対応へ

計画していた国内修学旅行キャンセル料金は当初徴収する負担金から拠出予定だったのを、区が対応へ

などなど



特別委員会 副委員長に就任

令和4年度 決算特別委員会

感染症法2類のコロナ禍では、出席人数を絞って密にならない本会議場にて決算・予算特別委員会を開催していました。5類に変更となり、コロナ禍前と同じスタイルで行うことができました。

委員会室2部屋を使っのスタイルです。



小倉りえこ HP
区政報告



議員ひとりあたり60分の質疑

Q: 麻布通りの駐輪場撤去が非常に不便。東京都に継続利用を粘り強く要請して欲しい。

A: 一の橋公園内駐輪場の利用状況や周囲の放置自転車状況を踏まえ、暫定駐輪の取り扱いを相談する。



これまで区民の皆様から寄せられたご意見やご相談は、定例会以外の機会にも個別相談をして解決に取り組んでいます。

年2回の決算・予算特別委員会の機会にはこれまでの実績やそれを踏まえた今後の計画など、個別具体的な事業改善などに繋げていくため、項目ごとに質疑を行います。

Q: 補聴器助成と連動した、高齢者聴力検査体制確立のための検討進捗は？

A: 補聴器装着に繋げる流れ、適切な検診時期等、早期の事業実施に向け検討中。



Q: 電子商品券の認知度も高まり、初めての完売。今後の展望は？

A: 電子商品券と紙商品券取り扱い店舗数の差は徐々に埋まり、近いうちにほぼ同等の見込み。今後はシステム改善や贈答用の活用など、検討を進めていく。



決算特別委員会 質疑

- 【環境清掃費】 環境美化
- 【民生費】 高齢者の孤立防止
- 【衛生費】 予防接種、高齢者聴力検診
- 【産業経済費】 商店街支援、プレミアム付き区内共通商品券、消費喚起事業
- 【土木費】 麻布地区駐輪場整備、テナントビルごみ集積所
- 【教育費】 学校建て替え、国際理解教育、修学旅行、スポーツ観戦体制支援



【テナントビルにごみ集積所設置条例を要望】

单身向けワンルーム集合住宅に、ごみ一時保管施設の設置を求める条例があり、この条例を新規建築のテナントビルにも適応拡大を要望。街の環境美化のためにも必要です。

総務常任委員会視察



防災に特化した取り組みを視察

愛媛県新居浜市、高知県高知市・香南市で防災に特化した取り組みの視察に行きました。

防災センターを持ち啓発活動を行う取り組み、南海トラフ地震への備えや海岸沿いならではの津波避難タワー、発災時の救援行動や業務継続計画、防災土育成など、各自治体の実情に合わせた最大級の取り組みを学んできました。

【東町小の建て替えを要望】

児童数の増加で教室が足らず、既存不適格建築物とされている古い校舎は新たな工事・増築ができません。教育環境を向上させるべく、早期の建て替えを要望しました。



2015年、校庭にプレハブを建てましたが、校舎と連結していないため給食が運べません。

Q: みなとたばこルール巡回指導の実績・効果は？

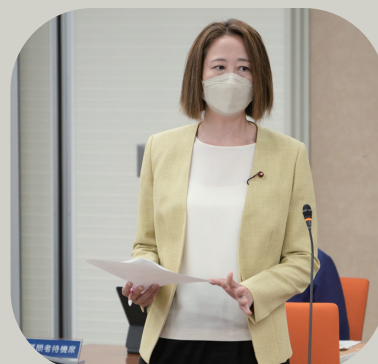
A: 7月は路上指導5,215件、吸い殻のポイ捨て回収は約15万7,000本

Q: たばこやごみポイ捨てに罰則・過料を設けては？

A: 現時点では過料を設ける予定はないが、先行自治体の条例の効果等を調査していく。



時折、児童遊園の惨状を見るに見かねて自ら拾うレベルです。



防犯カメラ
無償貸与事業

難聴高齢者
補聴器購入助成

がん患者のための
ウィッグ助成

様々な制度もあります。
港区の支援をご活用ください。

